

## 和漢診療学講座

## Japanese Oriental Medicine

教授	嶋田 豊	Yutaka Shimada
准教授	後藤 博三	Hirozo Goto
講師	引網 宏彰	Hiroaki Hikiami
助教	小尾 龍右	Ryosuke Obi
助教(前)	野崎 和也	Kazuya Nozaki

## ◆ 著 書

- 1) 嶋田 豊: 漢方と水. 「からだと水の事典」佐々木 成, 石橋賢一 編, 328, 朝倉書店, 東京, 2008.
- 2) 後藤博三, 寺澤捷年: 漢方薬. 「治療薬 Up-to-Date 2008」矢崎義雄 監修, 829-838, メディカルレビュー社, 大阪, 2008.
- 3) 野上達也: 感冒性下痢・嘔吐下痢症. 「使ってみよう! こんな時に漢方薬」三瀨忠道 監修, 78-79, シービーアール, 東京, 2008.

## ◆ 原 著

- 1) Hikiami H., Nozaki K., Nagata Y., Nakata S., Nogami T., Obi R., Goto H., Shibahara N., Shimada Y.: Biomarkers of endothelial dysfunction are elevated in patients with rheumatoid arthritis with oketsu (blood stasis). *J. Trad. Med.*, 25: 103-107, 2008.
- 2) Kiga C., Goto H., Sakurai H., Hayashi K., Hikiami H., Shimada Y., Saiki I.: Effects of traditional Japanese (Kampo) medicines (orengedokuto, goreisan and shichimotsukokato) on the onset of stroke and expression patterns of plasma proteins in spontaneously hypertensive stroke-prone rats. *J. Trad. Med.*, 25: 125-132, 2008.
- 3) Goto H., Shimada Y., Hikiami H., Kobayashi S., Yamaguchi S., Matsui R., Shimode K., Mitsuma T., Shintani T., Ninomiya H., Niizawa A., Nagasaka K., Shibahara N., Terasawa K.: Effect of keishibukuryogan on silent brain infarction over 3 years. *Kampo Med.*, 59: 471-476, 2008.
- 4) Fujimoto M.\*, Tsuneyama K., Kainuma M., Sekiya N., Goto H., Takano Y., Terasawa K., Selmi C., Gershwin M. E., Shimada Y.: Evidence-based efficacy of Kampo formulas in a model of non alcoholic fatty liver. *Exp. Biol. Med.*, 233: 328-337, 2008.
- 5) Nakagawa T., Goto H., Hussein G., Hikiami H., Shibahara N., Shimada Y.: Keishibukuryogan ameliorates glucose intolerance and hyperlipidemia in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (OLETF) rats. *Diabetes Res. Clin. Pract.*, 80: 40-47, 2008.
- 6) Kato I., Oya T., Suzuki H., Takasawa K., Ichsan A. M., Nakada S., Ishii Y., Shimada Y., Sasahara M., Tobe K., Takasawa S., Okamoto H., Hiraga K.: A novel model of insulin-dependent diabetes with renal and retinal lesions by transgenic expression of CaMKII $\alpha$ (Thr286Asp) in pancreatic  $\beta$ -cells. *Diabetes-Metab. Res. Rev.*, 24: 486-497, 2008.
- 7) Kiga C., Sakurai H., Goto H., Hayashi K., Shimada Y., Saiki I.: Proteomic identification of haptoglobin as a stroke plasma biomarker in spontaneously hypertensive stroke-prone rats. *Life Sci.*, 83: 625-631, 2008.
- 8) Nakanishi Y., Tsuneyama K., Nomoto K., Fujimoto M., Salunga T. L., Nakajima T., Miwa S., Murai Y., Hayashi S., Kato I., Hiraga K., Hsu D. K., Liu F. T., Takano Y.: Nonalcoholic steatohepatitis and hepatocellular carcinoma in galectin-3 knockout mice. *Hepatology Res.* 38: 1241-1251, 2008.
- 9) Nakanishi Y., Tsuneyama K., Fujimoto M., Salunga T. L., Nomoto K., An J. L., Takano Y., Iizuka S., Nagata M., Suzuki W., Shimada T., Aburada M., Nakano M., Selmi C., Gershwin M. E.: Monosodium glutamate (MSG): a villain and promoter of liver inflammation and dysplasia. *J. Autoimmun.* 30: 42-50, 2008.
- 10) Obi N., Hayashi K., Miyahara T., Shimada Y., Terasawa K., Watanabe M., Takeyama M., Obi R., Ochiai H.: Inhibitory effect of TNF- $\alpha$  produced by macrophages stimulated with *Grifola frondosa* Extract (ME) on the growth of influenza A/Aichi/2/68 virus in MDCK cells. *Am. J. Chin. Med.*, 36: 1171-1183, 2008.

- 11) Matsumoto C., Kojima T., Ogawa K., Kamegai S., Oyama T., Shibagaki Y., Kawasaki T., Fujinaga H., Takahashi K., Hikiami H., Goto H., Kiga C., Koizumi K., Sakurai H., Muramoto H., Shimada Y., Yamamoto M., Terasawa K., Takeda S., Saiki I.: A proteomic approach for the diagnosis of 'Oketsu' (blood stasis). a pathophysiologic concept of Japanese traditional (Kampo) medicine. Evid. Based Complement. Alternat. Med., 5: 463-474, 2008.

#### ◆ 症例報告

- 1) 古谷陽一, 津田昌樹, 森 昭憲, 小尾龍右, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: 高齢の経管栄養患者における反復性気道感染に鍼灸治療を行った3例. 日本東洋医学雑誌, 59: 633-640, 2008.
- 2) 小尾龍右, 藤本 誠, 野崎和也, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 右手指切断後の幻肢痛・断端痛に対し当帰芍薬散料加烏頭が有効であった一例. 漢方の臨床, 55: 35-39, 2008.
- 3) 野崎和也, 井上博喜, 小尾龍右, 引網宏彰, 嶋田 豊: 当科における関節リウマチ患者の消化管アミロイドーシスに関する検討. 中部リウマチ, 39: 8-9, 2008.
- 4) 八木清貴, 篠田晃一郎, 多喜博文, 杉山英二, 嶋田 豊: MPO-ANCA 陽性顕微鏡的多発血管炎の治療経過中に肥厚性硬膜炎を合併した二例. 中部リウマチ, 39: 46-47, 2008.

#### ◆ 総 説

- 1) 嶋田 豊: 漢方医学の歴史と現在. そしてエビデンスへの取組み. アーユルヴェーダ研究, 37, 2008.
- 2) 後藤博三: 動脈硬化と漢方. アンチ・エイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 4: 785-789, 2008.
- 3) 後藤博三: 脳神経疾患. 漢方と最新治療, 67: 245-251, 2008.

#### ◆ 学会報告

- 1) Goto H.: The concept of traditional Japanese medicine on neurological disease. The 9th Korean Medicine Association of Stroke, 2008, 9, 28, Seoul. (Invited lecture)
- 2) 嶋田 豊: 内科診療に役立つ漢方. エビデンスを中心に. 日本内科学会北陸支部第43回生涯教育講演会 2008, 3, 2, 富山. (招待講演)
- 3) 永田 豊\*, 野崎和也, 井上博喜, 村井政史, 小尾龍右, 引網宏彰, 酒井伸也, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 塩酸フェニルプロパノールアミン (PPA) 各有医薬品で発症した高血圧性緊急症の1症例. 第204回日本内科学会北陸地方会, 2008, 3, 2, 富山.
- 4) 高橋雅法, 吉田淑子, 岡部素典, 木村真梨, Teng Zan, 戸田文香, 米田徳子, 京 哲, 清野 透, 柴原直利, 二階堂敏雄: 褥瘡モデルラットを用いた不死化羊膜間葉細胞添加 Collagen gell による創傷治癒効果の検討. 第7回日本再生医療学会総会, 2008, 3, 13-14, 名古屋.
- 5) 藤本 誠\*, 常山幸一, 中西ゆう子, 高野康雄, 嶋田 豊: MSG マウス: 肥満, 2型糖尿病を背景として発症する非アルコール性脂肪性肝疾患/脂肪性肝炎の新たな動物モデル. 第44回日本肝臓学会総会, 2008, 6, 5-6, 愛媛.
- 6) 引網宏彰: 高齢者の急症・難症に対する漢方治療. 平成20年度日本東洋医学会北陸支部特別講演会・専門医制度夏季教育講演会, 2008, 7, 13, 富山. (招待講演)
- 7) 篠田晃一郎, 杉山英二, 多喜博文, 朴木博幸, 松井祥子, 長田龍介, 関 英子, 引網宏彰, 松下 功, 木村友厚, 戸邊一之: 関節リウマチ患者における動脈硬化危険因子の罹患率に関する検討. 第52回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第17回国際リウマチシンポジウム, 2008, 4, 20-23, 札幌.
- 8) 犬塚 央, 野上達也, 木村豪雄, 田原英一, 三瀧忠道: 高齢者施設で多発した嘔吐下痢症に対する黄芩湯の使用経験. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 9) 後藤博三: 脳血管障害後遺症患者の機能低下と自立度低下に対する当帰芍薬散の効果. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 10) 中田真司\*, 渡辺哲郎, 野崎和也, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: 尋常性乾癬に桂枝人参湯が奏功した一例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 11) 古谷陽一, 折笠秀樹, 山本 樹, 森 昭憲, 中田真司, 岡 洋志, 渡辺哲郎, 引網宏彰, 嶋田 豊: 天候と身体症状の関連性. 気血水の病態を用いた解析. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 12) 引網宏彰, 岡 洋志, 渡辺哲郎, 森 昭憲, 小尾龍右, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 発汗過多を伴う抑鬱患者に竜骨湯が奏効した3症例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 13) 南澤 潔, 八木清貴: 抑鬱状態に八味地黄丸が奏効した壮年早期患者の2例. 第59回日本東洋医学会学術総会,

- 2008, 6, 6-8, 仙台.
- 14) 伊藤 隆, 仙田晶子, 山本佳乃子, 深谷 良, 王子 剛: 気うつ方剤と気逆方剤の反応例の心理テストの検討. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 15) Cho Kiho, 後藤博三: A Preliminary Study on the Inhibitory Effect of Chunghyul-dan on Stroke Recurrence in Patients with Small Vessel Disease. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 16) 深谷 良, 仙田晶子, 山本佳乃子, 王子 剛, 伊藤 隆: 経管栄養開始に伴う嚥下性肺炎に対して大建中湯が著効した3例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 17) 井上博喜\*, 後藤博三, 永田 豊, 引網宏彰, 柴原直利, 嶋田 豊: 悪性腫瘍の集学的治療における漢方薬の役割. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 18) 柴原直利, 関矢信康, 小尾龍右, 岡 洋志, 酒井伸也, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: 治喘一方(東郭)が奏功した気管支喘息の二症例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 19) 永田 豊\*, 中田真司, 井上博喜, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 四逆散料が有効であった子宮内膜増殖症の一症例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 20) 小尾龍右, 藤本 誠, 野崎和也, 引網宏彰, 酒井伸也, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 右手指切断後の幻肢痛・断端痛に対し当帰芍薬散加烏頭が有効であった一例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 21) 後藤博三, 永田 豊, 引網宏彰, 嶋田 豊, 新谷卓弘, 三瀧忠道, 柴原直利, 関矢信康, 藤永 洋, 寺澤捷年: 高血圧症患者における和漢薬治療の精神症状と血圧変動に及ぼす影響. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 22) 福田秀彦, 長坂和彦: COPD, 間質性肺炎に伴う諸症状に対して人参湯が有効だった3症例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 23) 藤永 洋, 高橋宏三, 引網宏彰, 小暮敏明, 嶋田 豊: 線維筋痛症の証の検討. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 24) 八木清貴, 中田真司, 南澤 潔: 開腹術後の便通異常に漢方薬が奏効した2例. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008, 6, 6-8, 仙台.
  - 25) 石上盛敏, 織田 聡, 山本 豊, 松浦康弘, 青墳信之, 脇田 久, 狩野繁之: 三日熱マラリア原虫ミトコンドリアゲノム解析の渡航医学への応用. 輸入マラリア患者の感染地の推定. 第12回日本渡航医学会学術集会, 2008, 7, 18-19, 岡山.
  - 26) 後藤博三, 岡 洋志, 引網宏彰, 谷川聖明, 野崎和也, 小尾龍右, 柴原直利, 新谷卓弘, 三瀧忠道, 嶋田 豊: 慢性腎臓病における補中益気湯の効果. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 27) 長坂和彦, 福田秀彦, 橋本正也, 江部康二, 江部洋一郎: 漢方薬はクレアチンを有意に低下させる. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 28) 柴原直利, 小尾龍右, 野崎和也, 条美智子, 岡 洋志, 関矢信康, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: アトピー性皮膚炎における加味逍遙散の適応病態に関する検討. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 29) 村上孝壽, 崔 虎山, 堀 仁美, 小尾龍右, 松本欣三: 脳虚血に対するベルベリンの保護効果とその作用機序. 海馬切片培養系及び脳内透析法による検討. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 30) 櫻井宏明, 木我千鶴, 後藤博三, 林 和子, 嶋田 豊, 済木育夫: 脳卒中易発症自然高血圧ラットにおける血漿ハプトグロビン低下とそれに対する漢方方剤の効果. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 31) 城野花名, 条美智子, 中川孝子, 田代いづみ, 木村真梨, 野崎和也, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: 桂枝加芍薬湯中の芍薬増量が及ぼす腸管運動抑制作用に対する影響についての研究. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 32) 原島寿江, 条美智子, 中川孝子, 宮田真由香, 金子真利亜, 藤本 誠, 中田真司, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: チオアセトアミド誘発肝線維化に対する桂枝茯苓丸の効果. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 33) 宮田真由香, 条美智子, 中川孝子, 田代いづみ, 金子真利亜, 岡 洋志, 中田真司, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: 5/6腎摘慢性腎不全モデルにおける桂枝茯苓丸・補中益気湯の腎障害進展に対する影響. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 34) 条美智子, 岡 洋志, 宮田真由香, 中川孝子, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: 五苓散による腎臓のイオンチャンネル及び腎機能の影響. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
  - 35) 引網宏彰, 野崎和也, 井上博喜, 野上達也, 藤本 誠, 小尾龍右, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 関節リウマチ患者における腎虚と骨粗鬆症との関連性. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.

- 36) 古谷陽一, 折笠秀樹, 山本 樹, 中田真司, 岡 洋志, 渡辺哲郎, 引網宏彰, 嶋田 豊: 冷え症と漢方的病態の関連. 氣血水スコアを用いた解析. 第25回和漢医薬学会大会, 2008, 8, 30-31, 大阪.
- 37) 中田真司\*, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊: 難治性の噁気に麦門冬湯が奏効した1例. 第18回漢方治療研究会. 2008, 9, 21, 千葉.
- 38) 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 発熱を繰り返す膿胸・癌性胸膜炎に人参養栄湯(聖剤総録)が有効であった1例. 第18回漢方治療研究会. 2008, 9, 21, 千葉.
- 39) 古谷陽一, 折笠秀樹, 山本 樹, 中田真司, 岡 洋志, 渡辺哲郎, 嶋田 豊: インフルエンザ流行期における上気道感染の発症を予測できるか? 和漢診療学の病態に基づく診断モデルの提案. 第18回漢方治療研究会. 2008, 9, 21, 千葉.
- 40) 野上達也\*, 南澤 潔, 引網宏彰, 嶋田 豊: 随証治療が奏効している骨髄異形成症候群(不応性貧血)の一例. 第18回漢方治療研究会. 2008, 9, 21, 千葉.
- 41) 木村真梨\*, 永田 豊, 藤本 誠, 小尾龍右, 引網宏彰, 後藤博三, 嶋田 豊, 柴原直利: 鍼灸治療が奏効したスポーツ障害の2症例. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 42) 立野 豊, 菅野俊輔, 山形由紀, 八木清貴, 南澤 潔: 顔面痛に対する鍼灸治療の経験. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 43) 山形由紀, 菅野俊輔, 立野 豊, 八木清貴, 南澤 潔: 下肢のしびれに対する鍼治療の効果. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 44) 菅野俊輔, 山形由紀, 立野 豊, 八木清貴, 南澤 潔: 周産期マイナートラブルに対する鍼灸治療. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 45) 山本佳乃子, 織田 聡, 永田 豊, 小尾龍右, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 糖尿病患者にみられた左季肋部痛、便秘に柴胡桂枝湯が有効であった1例. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 46) 織田 聡, 山本佳乃子, 永田 豊, 小尾龍右, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊: 柴胡桂枝湯が奏効した舌痛症の一例. 第34回日本東洋医学会北陸支部例会. 2008, 10, 26, 金沢.
- 47) 後藤博三: 脳血管障害における和漢薬治療の役割. 日本東洋医学会関東甲信越支部2008年度群馬県部会, 2008, 11, 23, 高崎. (招待講演)

#### ◆ その他

- 1) 祖父江元, 服部直樹, 小池春樹, 池田修一, 嶋田 豊, 林 正男, 栗山 勝, 犬塚 貴, 橋本修二, 溝口功一, 鷺見幸彦, 寶珠山稔, 丸山晋二, 稲葉静代, 宮田和明, 小長谷正明, 松岡幸彦: 中部地区スモン患者の実態. 平成14年度～19年度における検診結果から. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班. 平成17年度～19年度総合研究報告書. pp. 24-26, 2008, 3
- 2) 祖父江元, 服部直樹, 小池春樹, 池田修一, 嶋田 豊, 林 正男, 栗山 勝, 犬塚 貴, 橋本修二, 溝口功一, 鷺見幸彦, 寶珠山稔, 丸山晋二, 稲葉静代, 宮田和明, 小長谷正明, 松岡幸彦: 中部地区スモン患者の実態. 平成14年度～19年度における検診結果から. 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班研究報告会, 2008, 2, 8, 東京.
- 3) 祖父江元, 服部直樹, 小池春樹, 池田修一, 嶋田 豊, 林 正男, 栗山 勝, 犬塚 貴, 橋本修二, 溝口功一, 鷺見幸彦, 寶珠山稔, 丸山晋二, 稲葉静代, 宮田和明, 小長谷正明, 松岡幸彦: 平成19年度中部地区スモン患者の実態. 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班. 平成19年度総括・分担研究報告書, pp. 27-29, 2008, 3.
- 4) 嶋田 豊: 富山大学の21世紀COEプログラムについて. 漢方医学, 32: 41, 2008.
- 5) 引網宏彰: 呼吸器疾患と漢方. 魚津市医師会学術講演会, 2008, 1, 富山.
- 6) 嶋田 豊: スペシャルインタビュー. 東洋医学と西洋医学が融和した全人的な医療をめざす. 和漢診療科を探究. ISHIN「医心」, 7, pp.34-38, 2008, 1-2.
- 7) 引網宏彰, 嶋田 豊: 認知症と漢方. 医報とやま, 1462, p. 6, 2008, 9.
- 8) 引網宏彰: 漢方概論及び症例について. 平成20年度第9回高岡医療圏薬剤師会研修会, 2008, 3, 富山.
- 9) 引網宏彰: 神経・筋領域と漢方医学(保存版・神経・筋領域漢方マニュアル). TSUMURA Medical Today「領域別入門漢方医学シリーズ」, 2008, 5.
- 10) 野上達也: 真夜中の症状. こむらがえり. JIM, 18: 859, 2008.
- 11) 小尾龍右: 女性の健康管理について. 和漢診療の視点から. 2008, 3, 富山.

- 12) 小尾龍右: 神経・筋と漢方. 春日山漢方勉強会, 2008, 3, 上越.
- 13) 小尾龍右: 女性の健康管理について. 和漢診療の視点から. 2008, 8, 富山.
- 14) 小尾龍右: リウマチ・自己免疫疾患と漢方. 春日山漢方勉強会, 2008, 8, 上越.
- 15) 小尾龍右: 炎症性腸疾患の和漢薬治療. 第15回富山県IBD教室, 2008, 11, 高岡.
- 16) 小尾龍右: 血液・産婦人科領域の漢方. 春日山漢方勉強会, 2008, 11, 上越.
- 17) 野上達也: プライマリケアに用いる漢方. 第20回医学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー. 日本家庭医療学会学生・研修医部会, 2008, 8, 11, 新潟.
- 18) 古谷陽一: なぜ漢方を科学的に研究するのか? その理由と心構え. 漢方の臨床, 55: 140-141, 2008.